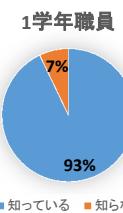
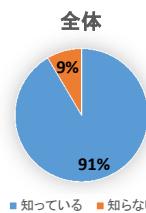
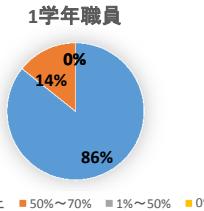
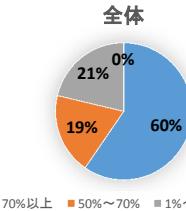


H29年度 職員による天草高校SSH意識調査アンケート集計結果

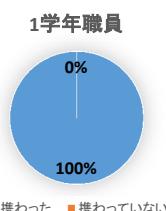
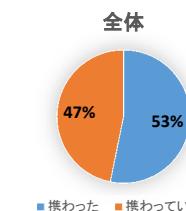
Q1:天草高校のSSH研究開発課題を知っていますか



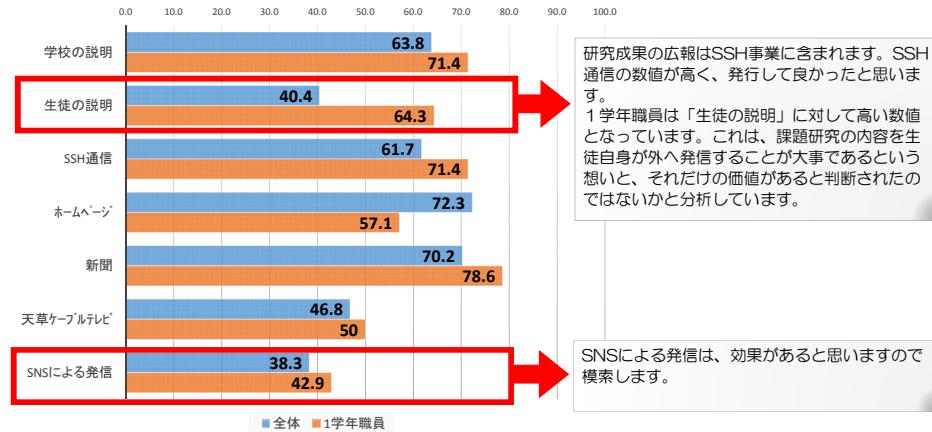
Q2:今年度のSSH事業をどの程度知っていますか



Q3:SSH事業に携わりましたか



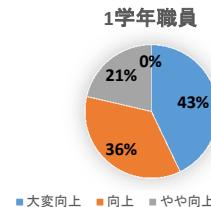
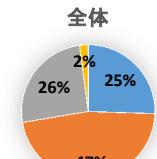
Q4:SSH事業成果の広報に有効であると思うもの（＊複数選択可）



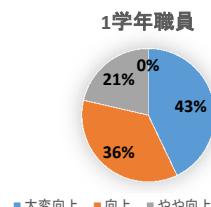
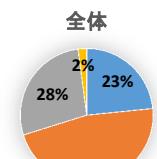
SSH事業に携わったと答えた先生方は次の通りです。
①AS I担当者
②科学部顧問
③SSH研究部職員
全職員が携われる機会を多くするなど、体制を整えたいと思います。

SSH事業に携わったと答えた先生方は次の通りです。
①AS I担当者
②科学部顧問
③SSH研究部職員
全職員が携われる機会を多くするなど、体制を整えたいと思います。

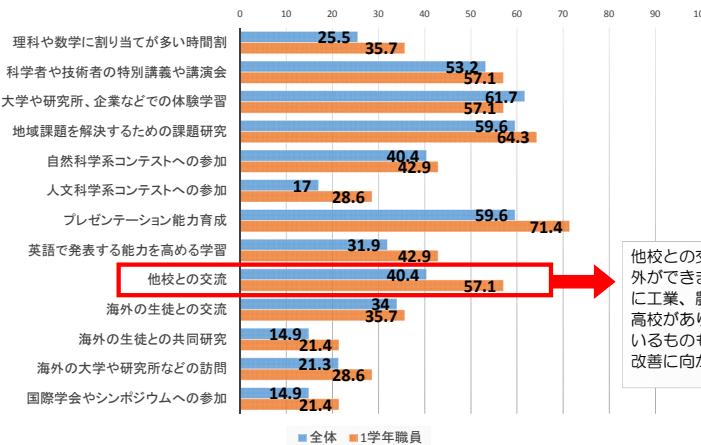
Q5:生徒の科学技術に対する興味・関心・意欲が増しましたか



Q6:生徒の科学技術に関する学習に対する意欲が増しましたか

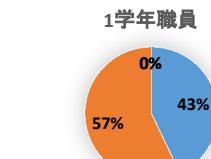
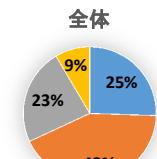


Q7:天草高校SSH事業に求めること



他校との交流は、発表会などでの交流以外ができませんでした。天草には、近くに工業、農業、食品、水産を専門とする高校があり、同じようなことを研究しているものもあります。この点は、来年度改善に向かいます。

Q8:SSHが指導力向上に役立つと思いますか



1学年職員は、AS Iで初めて課題研究に携わった先生がほとんどでした。先行研究や仮説、検証、そしてプレゼンテーションと、私たち教師にとっても必要な取り組みが行われることで、自然と指導力向上が見込めるのだと思います。

回答への御協力ありがとうございました